

建設トッ  
ブ倶楽部  
ランナ

## 国土省と意見交換 担い手確保、生産性向上など

新事業や技術開発に取り  
組む地域の建設業経営  
者らで組織する建設トッ  
プ倶楽部（代表幹事・米田雅子慶  
應義塾大学特任教授）は  
10月30日、国土交通省幹  
部との意見交換会を開い  
た。写真。担い手の確保  
や生産性向上など、建設  
業が直面している課題に  
ついて話し合った。

意見交換は毎年この  
時期に開催しているも  
の。同幹事会からは40人  
が参加した。

意見交換の開始に当た  
り、国土省大臣官房技術  
調査課の常山修治建設シ  
ステム管理企画室長と、  
土地・建設産業局建設市



場整備課の藤本真也建設  
市場整備推進官が、建設  
業の働き方改革の推進▽  
i-Construc  
tionと新技術の活用▽  
建設キャリアアップシ  
テム構築など就業者の処  
遇改善▽女性や外国人な  
ど多様な人材活用など  
の施策について説明し  
た。

担い手の確保・育成に  
関して業界側からは、  
「災害復旧の現場で人の  
不足を実感した」という  
危機感を伝える声があっ  
た。また、「地元の中高  
生には建設業の姿が見え  
ていない。PRをより工  
夫していく必要がある」と  
いう意見が出た。「建  
設系高校のカリキュラム  
では、設計は多いが施工  
は少ない」という指摘も  
あった。

さらに「技能者の建設  
キャリアアップシステム  
に匹敵する、技術者の技  
術力に関するデータベース  
を整備してほしい」と  
いう意見が出た。「多能  
工育成の仕組づくりが必

要」という声もあった。  
多様な人材の活用に関  
して「新卒で採用した女  
性が極めて有能。女性の  
入職を促進したい」と話  
す経営者もいた。また、  
「ICT施工がしたいと  
入社してくる若者が増  
え、定着率も高い」とし、  
仕事の魅力を高める重要  
性を指摘する意見が出  
た。また、地元企業に就  
職した新卒者に対して資  
格取得などを支援する地  
元市の取り組みに関する  
情報提供もあった。

また、生産性の向上に  
ついて「根本的な問題と  
して、設計と現場の不一  
致がある。設計を直すた  
めに3カ月以上着工でき  
ないことがある」と改善  
を求める声が上がった。  
防災に関しては「災害  
を防止するため、斜面な  
どの安全率を未然に高め  
るべき」という意見や、  
「洪水での流木による被  
害が甚大。森林のメンテ  
ナンスが必要」という指  
摘があった。

これらの声に対して国  
土省土地・建設産業局の  
高橋兼司建設課長が「人  
手不足と担い手確保の問  
題を実感した。人口減少  
と産業間の人材獲得競争

が激しくなる中で、新し  
いものを取り入れ、建設  
業をより良いものにして  
いきたい」と述べ、意見  
交換を締めくくった。  
（地方建設専門紙の会）